

マイセルフ

自分らしく

特集

なりたい私になるために

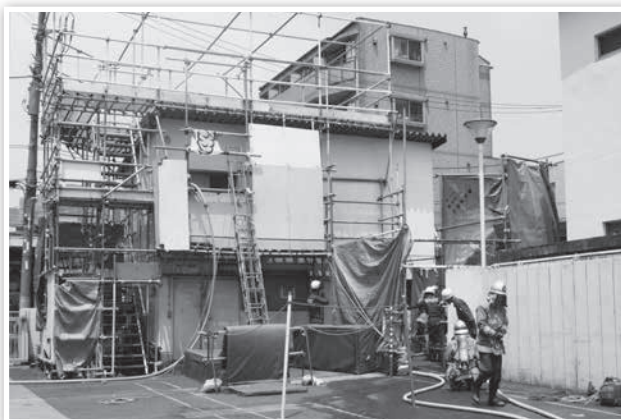
— 夢を持ち続けられる社会へ —



品川消防署には東京消防庁で1台しかない先端屈折型のはしご車が配置になっています
※品川消防署HPより



編集委員と取材にかかわってくださった品川消防署の皆さん



実践さながらの訓練風景

私たちが見つけた品川区の

Vol. 3

品川区役所屋上庭園



品川区役所の屋上にひっそりとある憩いの場。都会とは思えない解放感に溢れ、晴れた日には富士山も望める絶景！ピクニックにいかがですか？

※詳細は品川区HPをご覧ください

ちよつといい所
素敵なところ♪

2014Aug.

● なりたい私になるために — 夢を持ち続けられる社会へ —

2 ~ 5P

● 男女共同参画センターからのお知らせ

6 ~ 8P

VOL. 46

なりたい私になるために

— 夢を持ち続けられる社会へ —



品川消防署HPより

東京消防庁品川消防署に勤務されている青木さんに、清泉女子大学の学生が取材に行きました。

なぜ消防士という職業を選ばれたのですか

青木さん 私は大学で工業系の化学を専攻していて、工場などの火災や事故は社会的にも、環境的にも、また人命や生活にも大きな被害を与えるということを学びました。そこで、その事故を起こさないためにはどうしたらいいのだろうと考えました。もともとは警察の科学捜査研究所(※)を志望していたのですが当時募集がなく、消防でも東京消防庁の消防技術安全所というところが同じような機関であることを知り、消防の仕事も、火事、爆発において専門的に深く調査できることからこの仕事を選びました。合格発表が大学を卒業してすぐのタイミングではなかったので、10月に消防学校に入るまでは一般企業で働いていました。

普段従事されている仕事内容について教えてください

青木さん 私は防災安全係に所属しており、主に地域の防災力を上げていく取り組みをしています。例えば町会の防災訓練、小学生や中学生の防災教育を指導しています。また、消防少年団という小学校1年生から中学校3年生まで入れるクラブ活動のような団体があるので、その指導等を行っています。

※科学捜査研究所(かがくそうさけんきゅうじょ)とは、日本の警視庁及び道府県警察本部の刑事部に設置される研究機関。略称は「科捜研(かそうけん)」。

地域で活動を行うときに難しいと感じた時はありますか

青木さん 地域の防災訓練に参加してくださる方が高齢な方が多くなっているのでもう少し若い方に参加していただければ、地域の活性化にも繋がるのではないかと思います。

防災訓練はいつ行っていますか

青木さん 町会ですと土日の午前中、または平日の夜が多いです。働いている方もいらっしやるので集まれるときに公園などに集まって行っています。お父さんお母さんを対象とした応急手当の講習を行うこともあります。PTAの方が主催となって、お父さんが学校に泊まって防災訓練や炊き出しを体験するというも行っています。

また、未就学児を持つお母さんたちには、ファイヤーフェスティバルなどの大きなイベントや、広報誌や、ホームページで防災訓練についてのご案内をしております。そこで応急手当の方法やAEDの体験ができるようにしています。また、町会長あてにお知らせをしていますが、町会に入っていない方や、マンションだと閲覧板が回ってこないことで、情報が届いていない方がいるのかもしれない。我々が協力したいと思っても手が届いていないというのは、課題だと思っています。ぜひファイヤーフェスティバルに参加してもらったり、品川消防署のホームページを見ていただきたいと思います。



左・宮澤さん、右・青木さんと編集委員との取材の様子

防災安全係として区民の方に知ってもらいたいことはありますか

青木さん 今は各町会に防災倉庫が配置されています。お住まいの近くの防災倉庫にはどんなものが設置されているのか、そこに設置されている資器材はどうやって使うのかなどを知ることが、地域の防災力アップに繋がります。資器材や置いてある場所の説明をしていますので、防災訓練にはできるだけ積極的に参加していただきたいです。もしくは、実際に消防団に入って活動するというのもいいかと思っています。

消防団について教えてください

宮澤さん 品川消防団では現在、233名の団員がいて、45名が女性消防団員です。

青木さん 消防団の活動としては火災の消火活動など地域で発生する災害への対応のほか、広報活動等を行っています。女性の

活動で多いのは応急救護の指導ですね。広報活動では、春と秋の火災予防運動のときに、消防団員の方と一緒に車に乗って巡回広報活動をしています。その時、女性の声は聞きやすいので、消防団や地域の女性の方に協力してもらい、「防災に努めてください」というようなアナウンスをしてもらうこともあります。

品川消防署の特徴を教えてください

青木さん 品川消防署は大崎や五反田周辺も管轄していますが、大崎駅付近ですと再開発が進んで年々高層ビルが増えていきます。また、旧東海道のあたりや西品川地区では、昔の家屋や木造住宅が多いです。火災の際、それぞれの建物に対応した戦術で消防活動をしています。どこの消防署でも根本は同じだと思いますが、地域によって住まれている方や街の特色が違うので、地域にあった消防活動が必要です。

様々な勤務体制があると伺いましたが、どのような勤務体制がありますか

青木さん 月曜日から金曜日の8時半から17時15分までの勤務が毎日勤務で、他に交替勤務があります。交替制勤務は、8時半から翌朝の8時40分までの3部制で24時間体制をとり、消防署に泊まりこみで勤務します。夜間は、宿泊している消防士が実際に災害現場に行くこととなります。

毎日勤務と交替制勤務は選べるのですか

青木さん 選べません。年に一度、勤務評

定という自己申告の機会があり、1年間の仕事の報告、次の仕事ではこういう仕事がいいという希望を書くことができます。年に2回、4月と10月に大規模な庁内の人事異動があります。しかし希望通りになるかはわかりません。

消防署ではそれぞれ適材適所の配置を行っているのですが、全て思う通りの勤務にすることは難しいですが、その与えられた職務で成果を出し、認めてもらえるように頑張り次のチャンスを狙います。消防署にいる女性は、負けず嫌いが多くいます。力不足ととらえられたと感じたら、力をつけて力があるところをお見せしましょうと、燃える人が多いです。

消防士になるにあたり、身体基準や身体検査などはありますか

青木さん 採用案内の中では、女性だとおむね身長155センチ以上、体重45キロ。採用案内で、身体基準は男性は、おむね160センチ以上、体重50キロ以上となっています。

清泉女子大学と品川消防署と品川区の防災上のつながりについて

平成25年12月11日（水）、清泉女子大学で、品川消防署と品川区がそれぞれ、清泉女子大学と大規模災害を想定した協力協定を締結しました。また同日、品川消防署と同大学の間にも、新たに「大規模自然災害発生時の災害活動拠点の移転に関する協定」が締結されました。

この協定は、津波や大規模な水害が発生し、同消防署が被災した場合などを想定し、海拔26.9メートルに位置する同大学へ、消防車両や本部機能を移転させることなどが盛り込まれています。

津波等を想定して、災害時の貴重な戦力や消防署の機能維持を図ることを目的とした協定の締結は、都内では初めての試みです。

協定は、品川区と品川消防署がそれぞれ同大学と締結するものですが、この日の調印式には三者が一堂に会し、互いに連携して災害対応を円滑に進め、防災訓練等を通じて実効性の高い協力関係を築いていくことなどが確認されました。



田中品川消防署長 本間品川区副区長
清泉女子大学 門野前学長

以上(※)というものがありません。一般の会社と違うのは体力検査があることでしょうか。そこで1キロ走や反復横跳びといった、よく高校生の時にやっていたスポーツテストのようなテストがあります。

私たちのような毎日勤務では災害現場にはあまり行きませんが、交替制勤務の場合は、災害現場に行くので、やはりある程度の体力は必要となってくる仕事です。その点を考えると、体力面等はある程度ないと厳しいのかなと思います。

女性もホースをもって消火活動はするのですか

青木さん 平成18年の採用者からは女性職員もポンプ隊員として活動できるようになっていますが、やはり実際の災害現場では少ないですね。ただ、ホースを持たなくても車の運転や、その災害現場で指揮をとるですとか、そういったことで女性が活躍していることはたくさんあります。

宮澤さん また平成18年の採用者から女性も男性と同じように活動しよう、同じ機会

を与えようということで、女性のポンプ隊員や指揮隊員が増えてきています。そういった方が年齢も階級も上がってくると小隊長となる人がどんどん増えてきています。もともと車の運転や指揮隊の一員という役割は以前からありましたが、小隊長という立場は今後増えていくのかもしれない。

消防士には男女の制服の違いはありますか

青木さん 今はありません。作業、災害現場に行くときの服装ですが、執務服といい私も男性も同じものを着ています。毎日勤務員が着用している制服も男女同じです。以前は色が違って、女性はえんじ色の制服を着ていた時期がありましたが、今は男女同じ制服になっています。執務服の夏服は生地が厚さが違うだけで色は同じです。冬の制服はよく警察官に間違われます。冬の制服で街に出ると、「おまわりさん」と声をかけられてしまうので、「はい」と対応することがあります。(笑)

(各年 4月 1日現在)

市町村の消防組織の現況

区分	平成24年	平成25年	比較			
			増減数	増減率(%)		
消防本部	消防本部	791	770	△21	△2.7	
	内訳	単独	420	407	△13	△3.1
		市	66	59	△7	△10.6
		町・村	66	59	△7	△10.6
	一部事務組合等	305	304	△1	△0.3	
	消防署	1,706	1,700	△6	△0.4	
	出張所	3,184	3,162	△22	△0.7	
消防職員数	159,730	160,392	662	0.4		
うち女性消防職員数	3,952	4,124	172	4.4		
消防団	消防団	2,234	2,224	△10	△0.4	
	分団	22,753	22,578	△175	△0.8	
	消防団員数	874,193	868,872	△5,321	△0.6	
	うち女性消防団員数	20,109	20,785	676	3.4	

(備考) 「消防防災・震災対策現況調査」及び「消防本部及び消防団に関する異動状況の報告」により作成

消防白書(H25)より

消防士ならではの ルールを教えてください

青木さん チームワークを大切にすることです。一般の会社ですと個々の成績を重視されますが、そもそも個人プレーというのが消防にはないので、災害現場にいても一つの隊で活動する、やはりチームワークが大切になってきます。毎日勤務でも個々のプレーではなく相談しながら連絡を密にし、互いに協力してもらって一つのことをなしとげることが多いです。チームとして一体となって活動することの例として、制服を揃えるというのがあります。例えばなにかイベントを行うとき、担当職務に応じて、服装を揃えます。

また、交替制の場合、朝交替後に準備運

動をするのですが、その時に今の時期だと上着を脱ぎたい人、脱ぎたくない人がいると思うんですけど、上着を「脱いでください」といわれたら全員が上着を脱いでTシャツになる。誰かひとりが上着を着るとかはないですね。また、その脱いだ上着のたたみ方に特徴があって、決まったたたみ方があります。みんな同じ制服を着ているので、必ず胸元の名札が上になるようにたんでその名札が見えるように並べておきます。なぜか皆向きもそろえておいています。あと、ルールではないのですが、食事のスピードが速くなりますね。いつ災害が発生するかわからないので、ゆっくり食べている時間とはれません。休日等のプライベートルームに友人と、ご飯を食べているときも一人だけ早く食べ終わってしまおうよなことは結構あります。

消防士として勤務するなかで 苦労したことはありますか

青木さん 女性が少ない職種でもあるのでいっぱいありますね。力仕事の面では、周りが気を使って私としては、持てるのですが「持たなくていい、やらなくていい」と言われてしまうことはよくあります。悔しいと思って筋トレに走ってしまいますね。先ほどもチームワークというお話をしましたが、そこから外されたと思うのです。他の人は向こうで作業しているのに、何故私は、別のところで、別の作業をしているのだらうと。力がないって思われているのは悔しいから、力をつけよう。あるいは他の人より多く知識をつけ、聞かれたことは答えられるように努力しています。まずは知識を身につけることで体力面をカバーし、頭脳として作業に加わります。筋力はすぐ

につかないので。

女性という立場を 活かすことができた場面はありますか

青木さん 私はあまりないですけど、救急隊員の方は、やはり女性の患者さんのところに行ったときには「女性の隊員のほうが安心してお話できます」とか、救助現場によっては同性の方が隊員で行くと「安心した」、「よかった」という言葉をかけていたことがあります。また、春と秋の火災予防運動のときには総合的な防火防災診断というかたちで、特に高齢者や体が不自由な方のお家にお伺いし、お住まいの状況や火災の危険がないか、地震の時に家具が倒れてこないかなど、居住環境をみながらアドバイスをします。その時、女性でよかったといってもらえます。また、災害にあつたお年寄りとお話する時、男性隊員の大きな声は、怒鳴られるように感じる方が多いので、そういう時に落ち着かせるのは女性のほうが向いているのかなと思います。

消防士になってよかったと 思ったときはありますか

青木さん 人にありがとって言うてもらえる仕事なので、消防士になってよかったなと思います。また、道を聞かれることが多いです。地域の方に信頼されていることを実感しています。

消防士になって、 生活面で変わったことはありますか

青木さん 変わったことは遊んでもらえる友人が減りました。(笑) 交替制勤務にな

ると土日は休みではないので、民間の会社に勤める友人に誘われても断ることが多く、徐々に誘われなくなりました。土日休みの毎日勤務になったとき、「あれ、仕事じゃないの?」と言われますね。

家庭を持つ消防士の方は、 不規則な生活と子育てや家事の両立は どのように行っているのですか

青木さん 女性職員は同じ職場内で結婚している方が大半を占めています。時間が限られている中、自分のやりやすい時間帯に家事をやっているそうです。旦那さんの協力がないと進めていけない仕事です。男性でも育児休暇がとれる制度がありますし、男性も育児に参加してもらい両立しているようです。

最後にメッセージをお願いします

青木さん これからは、女性が活躍する社会になっていくと思います。学生の皆さんが社会人になるころにはもっと女性の雇用制度が安定していると思うので、安心して家庭をもって仕事をしてください。



編集委員と間に青木さん
青木さんは、表紙のはしご車の
運転資格があるそうです。
(操作にはまた別の資格が必要とのこと)

編集後記

まさに男性社会というイメージの強い消防署で活躍されている女性がいることは、これから社会に出る、またはやる気を持つて働いている女性にとって大きな励みになると思います。身体面などで対等に働けない状況で負けるのではなく、より努力をして自分を磨いていく姿勢に感動しました。

(椎名悠)

今回インタビューをさせていただきました、今まで片方の性が有利な社会だと思われていた職業が開かれてきているんだなあと、自分を見直すチャンスになりました。また、地域密着で様々な工夫をなさっていることを知り同じ地域の大学に通っている身としてとても安心しました。

(八田麻莉那)

今回、私は取材に参加できませんでした。ですが編集作業に携わる中で、お聞きしたお話と昔消防官であった母の話と比べてみると女性が違和感なく受け入れられていることがわかりとても嬉しく思いました。直接お聞きできなかったのが本当に残念です。

(石井佐帆)



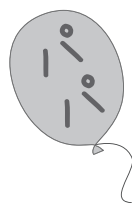
まだ男性が主体の消防士という職業の中で、女性消防士として働いている青木さんの姿に感銘を受けました。インタビューからは仕事に対する情熱を感じます。また機会があればお話を伺いたしたいと思います。

(川畑茉莉)

取材中緊張してしまい質問に対して掘り下げてお話を聞くことがうまくできませんでした。今回初めて編集作業に関わり、ほかにもお伝えしたい情報がたくさんあったのでうまくまとめられるよう今後も編集作業をしていきたいです。

(尾島環)

男女共同参画推進フォーラム 2014



今 人生 楽しんでますか？

自分らしい 仕事と育児の バランスを見つけよう

日時 平成26年11月15日(土) 午後1時30分～3時30分
会場 品川区立総合区民会館きゅりあん小ホール
定員 150名

入場無料

事前
申込制

託児有

手話
通訳有



講師
安藤 哲也氏

- NPO法人ファザーリング・ジャパン
ファウンダー／代表理事
- NPO法人タイガーマスク基金
代表理事
- にっぽん子育て応援団
共同代表



私たちが企画運営しています

詳しくはポスター・チラシ、品川区ホームページ、広報「しながわ」10/11号をご覧ください。

■ 第14期行動計画推進会議報告書

平成26年3月26日に行動計画推進会議が開催され、平成24年6月から「男女共同参画のための品川区行動計画（第4次）」の推進に向けて、調査・検討を重ねてきた「第14期行動計画推進会議報告書」が区長へ手渡されました。



■ 第15期行動計画推進会議がスタート

品川区は、平成21年10月に「男女共同参画のための品川区行動計画（第4次）」を策定しました。この計画の充実を図るため、2年ごとに、品川区行動計画推進会議が設置されます。6月6日（金）に、この計画の第3期目となる行動計画推進会議の委嘱式が行われ「第15期行動計画推進会議」が設置されました。委嘱式では、濱野区長から市川美知会長へ諮問が手渡され、その後、第1回行動計画推進会議が開催されました。学識経験委員4名、一般公募委員8名の計12名で構成され、平成28年3月に報告書が提出されることとなります。



🌀 講座 報告 🌀

■ コミュニケーション講座（2月4・18・25日/全3回）参加者54名（延べ人数）

『よりよい人間関係を結ぶためのコミュニケーション講座』

講師 小柳 茂子氏（相模女子大学教授・臨床心理士）

アサーティブ（自己表現）トレーニングとは、前向きに率直に自分を一步前に押し出し表現すること、自分の思いを大事にしながら、相手も大事にする表現をトレーニングすることです。攻撃的・非主張的のどちらでもなく、自分も他者も尊重する表現方法がアサーティブです。企業研修にも用いられ、対人関係スキルとしても評価されているアサーティブな表現を、事例をあげて学びました。参加者自身の体験を持ち寄り、ロールプレイングも行いました。

「要望や提案を伝えるときは、YOU（あなたの）メッセージではなく I（私の）メッセージをはっきり伝えることが大切と 学びました」「アサーティブな表現を勉強し、自分の気持ちを素直に表現できるようにしていきたい。」など、参考になりましたという感想をたくさんいただきました。



■ DV理解基礎講座（2月27日・3月6日/全2回）参加者28名（延べ人数）

『友人・隣人として私たちにできること』

講師 松田 知恵氏（心理カウンセラー）

DVは夫婦や恋人など親密な関係にある相手を、暴力を使って自分の思い通りに支配し従わせようとする人権侵害行為です。密室のなかでおこるため発見されにくい、被害者の受けている心身のダメージは深刻です。DV被害者との出会いとして様々なステージがあること、そのステージごとの守るべき注意点を説明されました。DVを放置しないように最近の社会情勢も法律もどんどん変わってきている、というお話と、実際に支援されている事例もお話をいただきました。終わりにDVから開放され安心した生活を送られている事例を紹介し、DVを許さない社会へ少しずつ進んでいると結ばれました。



■ 絵本講座 (6月7日) 参加者4組 大人6人 子ども3人

『絵本講座 ～読み聞かせを通して子どもとふれあう～』

講師 児玉ひろ美氏 (JPIC読書アドバイザー)

激しい雨の中、お集まりいただきました。

講師から、読み聞かせがこどもの育ちに大切なことが強調され、成長に応じて接したい本の選び方を学び、24冊の絵本も紹介されました。ロングセラーの本、ページをめくる楽しさを感じる本、それぞれの絵本がなぜ?どこが?良いのか教えていただきました。

受講された方からは「読み聞かせ方法に悩むこともあったので参考になりました。」「1日5分でも絵本を読む時間をつくりたいと思った」などの感想をいただきました。



講座のお知らせ

- 会場** 品川区立総合区民会館さゆりあん (品川区東大井5-18-1)
問合せ先 男女共同参画センター 電話5479-4104 FAX 5479-4111
定員 30名 託児あり (定員に達している場合もありますのでご了承ください。)

※以下の内容は原稿作成時のものです。最新の情報は広報しながわおよび品川区HPでご確認ください。

開催日	内容	講師	募集掲載予定 広報しながわ
※9月4日 ㊦ 午後1時30分～3時30分	断捨離 ～自分らしい生き方のすすめ～	講師 川畑のぶこ氏	7月21日号
※9月11日 ㊦ 午前10時～12時	一生衰えない脳の作り方・使い方 ～脳のアンチエイジング術～	講師 築山 節氏	7月21日号
10月10・17日 ㊦ 午前10時～12時	シェイクスピア講座 (2日制)	講師 門野 泉氏	9月1日号
10月21・28日 ㊦ 午前10時～12時	お仕事を始める前に (2日制)	講師 結木 利奈氏	9月21日号
11月20日 ㊦ 午後1時30分～3時30分	法律講座① 相続	講師 亀井 時子氏	10月1日号
11月26日 ㊦ 午後1時30分～3時30分	法律講座② 離婚	講師 寺崎 京氏	10月1日号
12月4・11日 ㊦ 午前10時～12時	ライフプラン講座 (2日制)	講師 飯村 久美氏	11月1日号

※印の講座は定員に達したため締め切りました。

夫など、パートナーからの暴力に悩んでいませんか?

暴力は犯罪です。ひとりで悩まず、ご相談ください。

東京都の配偶者暴力相談支援センターなどをご紹介します。詳しいことは品川区男女共同参画センターへ Tel. 5479-4104

- ★男女共同参画センターDV専門相談 毎月第1・3・4・5㊦ 午後1時～4時
 毎月第2㊦ 午後5時30分～8時30分

※事前予約による面接または電話相談

★しながわ見守りホットライン (児童虐待・DV) Tel. 3772-6622 24時間つながります。

★国 (内閣府男女共同参画局) の相談窓口「DV相談ナビ」..... Tel. 0570-0-55210 (お近くの相談窓口を自動音声によりご案内)

❶ 緊急のときは (身の危険を感じたら) ☎警察 110番 (事件発生時)

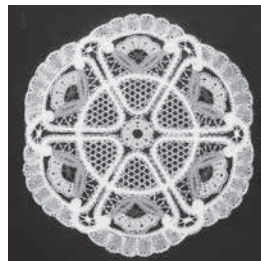
『土筆の会』は、中世ヨーロッパの伝統手工芸、ポピンレースの会です。

ポピンレースは、ポピンと呼ばれる細長い木製の糸巻に麻糸やコットン、絹糸を巻き、織り台の上に固定した型紙の上でポピンを左右に交差させ、交差をピンで固定しながら様々な模様を織り上げていきます。織細で複雑な模様ですが、交差とねじりの2つの基本操作だけで織られています。ポピンレースを織る姿はフェルメールの『レースを編む女』にも描かれています。

中世ヨーロッパの王侯貴族の肖像画で豪華なレースを身に着けているものをよく見ますが、その多くがポピンレースです。職人の熟練に時間がかかるうえ、作成に膨大な時間を使うことから、『糸の宝石』と呼ばれるほど非常に高価なものであり、王侯貴族にとっては権力財力を表すための装飾品でした。そのため肖像画を描く時は高価なレースを身に着け、画家はこのレースをいかに忠実に描くかに最大限の労力を払うほどでした。

活動は、月1～2回の火曜日の午後、男女共同参画センターの会議室で、ご自身も品川区主催の講習会がきっかけでポピンレースを始められたという佐々木禮子先生にご指導いただいています。各人のペースに合わせて基本から上級、さらに応用まで先生が作られた教材に基づいて作品作りをしています。作品の完成までには時間も手間もとてもかかりますが、出来上がった時の達成感は格別です。また完成した作品は、ハンカチ、ドイリー、額絵にして、暮らしに彩りを与えてくれます。会では、歴史や服飾関係にも触れながら、仲間との会話も楽しく、時には手芸好きな先生がポピンレース以外にもアクセサリーや小物などの作り方も教えてくださいます。

毎年11月には、東品川文化センターのかもめ祭に参加し、作品の展示やポピンレースの実演を行っていますので是非お越しください。



男女共同参画センターからのお知らせ

女性相談員による相談室

心や生き方の悩み、
家庭のことで困っていること、
また、法律に関することや離婚、金銭トラブルなど、
お気軽にご相談ください。
(男性もご利用ください)

電話相談

カウンセラーによる電話相談

毎月第1・2・3木曜日 午前10時～午後4時

(ただし、木曜日が祝日の場合はお休みとなります)

正午～午後1時前後は休憩時間のため、対応できないことがあります。

終了時間が午後4時ですので、お電話は午後3時30分ごろまでお願いいたします。

専用電話 5479-4105

面接 相談

無料。事前予約が必要です。予約電話 5479-4104

	相談時間	8月	9月	10月	11月
弁護士	午後1時～3時30分	6日 (水)	3日 (水)	1日 (水)	5日 (水)
	午後1時～3時30分	12日 (火)	9日 (火)	7日 (火)	11日 (火)
	午後5時30分～8時	18日 (月)	29日 (月)	27日 (月)	17日 (月)
カウンセラー	午後1時～4時	28日 (木)	25日 (木)	23日 (木)	27日 (木)
DV相談	午後1時～4時	1・15・22・29日 (金)	5・19・26日 (金)	3・17・24・31日 (金)	7・21・28日 (金)
	午後5時30分～8時30分	8日 (金)	12日 (金)	10日 (金)	14日 (金)

*法律に関することは法律相談(弁護士)を、
こころや生き方の悩みごとはカウンセリング相談(カウンセラー)を、
DVに関することはDV相談(専門相談員)をご利用ください。

☆交流室や会議室を、男女共同参画の推進を目的とする活動や学習のために、ご利用ください。交流室には資料コーナーが併設されています。

◇交流室 18席(最大): 個人やグループの活動の場としてご利用ください。

◇会議室 36席(最大): 利用する場合は、あらかじめ団体登録が必要です。詳しくは男女共同参画センターにお問い合わせください。

特集記事にご意見・ご感想をお寄せください。お待ちしております。

○次号「マイセルフ 自分らしく」47号は平成26年12月発行予定です

マイセルフ・自分らしく-VOL.46(しながわの女性から通算すると76号) 2014年8月発行(年3回発行) 品川区総務部人権啓発課男女共同参画担当
〒140-0011 品川区東大井5-18-1 品川区男女共同参画センター TEL.5479-4104 FAX.5479-4111 Eメール: danjo@city.shinagawa.tokyo.jp

●区内の各図書館、地域センター、文化センターなどで配布しています。古紙を配合した紙を使用しています